

【提案シートの内容】	生徒からの質問	【質問に対する市長の考えなど】	担当課
<p>【防災対策】 私たちが住んでいる吉良町は、海がすぐ近くにあります。観光として考えると、とても素敵な場所だと思いますが、防災の面で考えると、地震による津波の心配があります。西尾市は、南海トラフ地震による被害が大きいと聞いたことがあるので、西尾市の防災対策について考えてみました。南海トラフ地震への具体的な対策や、どこの施設が避難所に指定されているのかなど、分かりにくいという声がありました。ハザードマップなどもありますが、市民の皆さんにはあまり周知されていないように思います。防災について考える中で、西尾市には、防災アプリがあることを知りました。そこで実際に使ってみたところ、防災地図や災害体験ARなど、とても興味深い機能ばかりでした。特に、「HELP ME!」という機能は、連絡が取りづらい時にとても便利だと思いました。アプリ内のコンテンツの中には、「AEDの設置場所」や「防災ライブラリ」など、色々な情報が分かり、とても良い機能だと感じましたが、コンテンツをタッチすると、西尾市ホームページにつながりました、災害時に通信環境が悪くなった場合、市ホームページにつながるのかとても心配になったので提案します。</p>	<p>【質問1】 西尾市の防災対策の特徴を教えてください。また、今後の防災対策の計画は、どんなことに重点を置き考えているかを教えてください。</p>	<p>【市長】 災害時に通信環境が悪くなった場合の件ですが、去年、大きな台風が3つほど接近し、西尾市も暴風雨にみまわれました。当初我々が予想していたよりも多くの方が市ホームページへアクセスし、アクセス集中が発生し、一時的にホームページを閲覧することができなくなりました。その件については非常に反省しております。アクセス集中は予測できることであり、その対策が甘かったと反省しています。大災害時には絶対に起こってはいけないトラブルだと十分認識しています。今後はこのようなことがないように十分対策に努めます。</p> <p>【市長】 南海トラフ地震が今後30年以内に発生すると言われており、愛知県内においては、西尾市が実質的に一番大きな被害を受けるとされています。そのため、地震対策を含めた防災対策は急務です。市としては、被害予測をしっかりと受け止め、避難所における備蓄用食糧の確保や、災害時用のトイレの整備、また、防災用物品を保管する防災倉庫の整備を進めています。津波が押し寄せてきた時、特に高齢者の方や足が悪い方などはすぐに逃げられない可能性があるため、一時的に避難するためのタワー設置の計画も特徴的な取り組みのひとつです。その他、地域で避難訓練を実施した時に市が補助することもしています。今後については、津波避難シミュレーションを参考にしながら対策を講じていきます。</p>	<p>危機管理課 秘書広報広聴課</p>
<p>【提案1】 アプリについて。ネット環境を確保しておくことが災害時の事前対策のひとつだと思いますが、オフラインであっても、避難所の位置が分かたり、津波があと何分で到達するのかなどリアルタイムに情報が把握できたり、家族に安否確認等のメッセージが送れるような機能があれば安心できると思います。緊急時、ネット環境がダウンした場合など最悪の時であっても、オフラインで使用可能な機能があることで、平常時はもちろん、災害が発生し、実際に避難するような場合、アプリを活用することで被害を最小限に食い止めることができると思います。</p>		<p>【危機管理局長】 ハザードマップの見直しを行う予定です。今までは津波が押し寄せた後浸水する深さをハザードマップで示していましたが、見直し版では、この浸水深に津波が建物等にぶつかった時の波のせり上がり（波が上昇した高さ）を加えた水位でハザードマップの作り直しを行う予定です。</p> <p>【市長】 市民の皆さんには、「津波が来ないところへ逃げてください」とお願いしていますが、場所によっては、避難先が何キロも離れて遠い場合があります。最悪の事態を想定すると、例えば、橋が崩落してしまえば川を渡ることもできません。個々に置かれた状況も違い、様々な事案が想定されますが、市民の皆さんには、ハザードマップをはじめ、お伝えできる情報の周知徹底を図っていきたいと思っています。</p>	

【提案シートの内容】	生徒からの質問	【質問に対する市長の考えなど】	担当課
<p>【提案2】 防災訓練の仕方や回数について。避難訓練の回数を増やしただけでは意味がありません。繰り返し行うことで、体で覚えることはできますが、それはマニュアル通りの動きになってしまいます。状況が変化することを想定した訓練を行う事が大切だと思います。昨年、吉良町内で大きな防災訓練が行われましたが、あのような訓練を何度か実施することで、防災に対する市民の意識がより一層強まると思います。30年以内に高い確率で南海トラフ地震が発生すると言われており、津波の被害も心配されます。地震だけでなく、最近では、大雨や土砂災害などの自然災害が多発しています。いつ起きてもおかしくない災害に備えて、吉良地区だけでなく西尾市全体で、マニュアルに頼らない防災訓練のあり方を考えることも必要だと考えます。また、市からのお知らせが流れる防災行政無線は、聞こえにくいという話を聞いたことがあります。早急に放送機器を総点検して、市内全体に正確な情報が伝達できるか調べる必要があると思いました。</p>	<p>【質問2】 防災対策に使われる予算は、市全体の予算の何%ぐらいですか。</p>	<p>【市長】 防災対策に関する予算は、4億円を少し超えるぐらいです。西尾市全体の一般会計と呼ばれる予算の総額が、大体550億円くらいで、その1%くらいが防災対策に関連する予算となっています。市の様々な取り組みは、限られた予算の中で行っています。予算の元となるものは、市民の皆さんからいただいた大切な税金です。防災対策は、市民の生命と財産を守るためとても大事な取り組みですが、無限大に支出できる余裕もないというのが現状です。他市と比べれば、本市は防災対策に多くの予算を当てていますので、ご理解ください。</p>	危機管理課
	<p>【質問3】 吉良中学校の校舎は、改修する必要があると聞いたことがありますが、地震によって倒壊する心配はありますか。</p>	<p>【市長】 校舎については、吉良中学校の皆さんに不便をおかけしており大変申し訳なく思っています。地盤沈下の関係から校舎の一部分が傾いており、水平でない部分があります。学習環境としては良くない状況と十分感じています。改修というのは、元の形は残した中で部分部分を変えていくことを言いますが、吉良中学校の場合は、改修ではなく、建て替える形で考えています。地盤沈下による悪影響を取り除いた形で新しい建物を造るという建て替えを今検討している状況です。 地盤沈下の件や校舎自体の老朽化という話がありますが、地震によって建物が倒壊するか否かという点については、大きな地震に耐えられるよう、平成16年度から平成20年度の期間に耐震補強工事を吉良中学校でも実施しています。基本的には、震度7の地震が発生しても校舎が壊れることはないとしは考えていますので、安心して勉強してください。</p>	教育庶務課